

各 位

平成 18 年 4 月 26 日

本店所在地 東京都港区六本木一丁目6番1号
会社名 SBIホールディングス株式会社
(コード番号8473 東証第一部、大証第一部)
代表者 代表取締役CEO 北尾 吉孝
問い合わせ先 責任者役職名 取締役常務CFO
平井 研 司
電話番号 03-6229-0100 (代表)

当社子会社運用ファンドによる信和株式会社の株式譲渡のお知らせ

当社の連結子会社である SBI キャピタル株式会社(本社:東京都港区、代表取締役執行役員 CEO:北尾 吉孝、以下「SBIC」と言う)が運用しているファンドが保有する信和株式会社(本社:岐阜県海津市、代表取締役社長:山田 博、以下「信和」と言う)の全株式を下記の通り譲渡(以下「本件株式譲渡案件」と言う)し、平成 19 年 3 月期の当社連結売上高及び連結経常利益に、それぞれ 80 億 9,000 万円、68 億 1,000 万円(*1)のプラスのインパクトが見込まれることとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 株式譲渡までの経緯

SBIC は、運用しているファンドを通じて平成 15 年 12 月に信和の株式 100%を取得し、これまで同社の経営陣と二人三脚で企業価値向上に努めてまいりました。信和は、建設用足場など仮設用資材メーカーで業界トップのシェアを誇りますが、当時、内部管理体制の不備等により、更なる成長ステージに入る前に足踏みをしている状態でした。

SBIC は、計数管理の充実、経営情報の迅速な集計、情報共有体制の整備などを率先して指導し、内部管理体制を整えてきました。また、営業体制や生産管理体制も随時見直しをかけ、経営陣と共に経営戦略を策定し、その実践に励んできました。その結果、SBIC が投資してからの過去 2 年の通期決算は前年比で大きく上回り、特に平成 18 年 3 月期は過去最高水準の売上・利益を達成する見込みです(現在、平成 18 年 3 月期決算を集計中)。

SBIC は、自らが関与した約 2 年 4 ヶ月間で次なる成長ステージへの基盤固めを終え、更なる信和の発展を願い、経営陣による MBO 方式により信和を譲渡することとしました。今後は経営陣が主要株主の一部となり、会社をより積極的に運営していく体制を取ることになります。今回の MBO には、CVC アジア・パシフィックが投資助言を行うファンドが株式出資を行います。

尚、本件株式譲渡案件の IRR(*2)は約 87%、キャッシュマルチプル(*3)は約 4.2 倍を達成しました。

(*1) 上記は、各ファンドの直近決算書類をもとに、信和の売却を考慮した合理的な見積りに基づく見通しですが、実際の金額は、今後各ファンドにおいて発生する本件及び本件以外の取引から生じる損益等の全てを含めた決算書類に基づいて確定されるものであり、上記見通しから変動が生じることが見込まれます。なお、上記は現在の会計基準に基づく見通しであり、将来の基準変更等に伴い、会計上の表示区分その他が変更される可能性がある点にご留意下さい。

(*2) 内部収益率と訳す。投資プロジェクトの評価指標の一つで、投資に対する将来のキャッシュフローの現在価値と、投資額の現在価値とがちょうど等しくなる割引率のこと。本件 IRR は管理報酬、成功報酬控除前の値であります。

(*3) 買収時の投資現金額に対して売却時に何倍の現金を回収したかの値

2. 株式譲渡の概要

(1) 対象となる会社の概要

商号： 信和株式会社
代表者： 代表取締役社長 山田 博
所在地： 岐阜県海津市平田町仏師川 30-7
主な事業内容： 建設用仮設機材の製造及び販売
従業員数： 92 名（平成 18 年 3 月末）
売上高： 100 億 58 百万円（平成 18 年 3 月末見込み）
営業利益： 15 億 27 百万円（平成 18 年 3 月末見込み）

(2) 株式の譲渡先の概要

商号： コスメティクス・グローバル・ホールディングス・ジャパン株式会社
主な事業内容： バイアウト等による有価証券の取得を目的とした特別目的会社
所在地： 神奈川県横浜市
資本金： 1000 万円

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126